

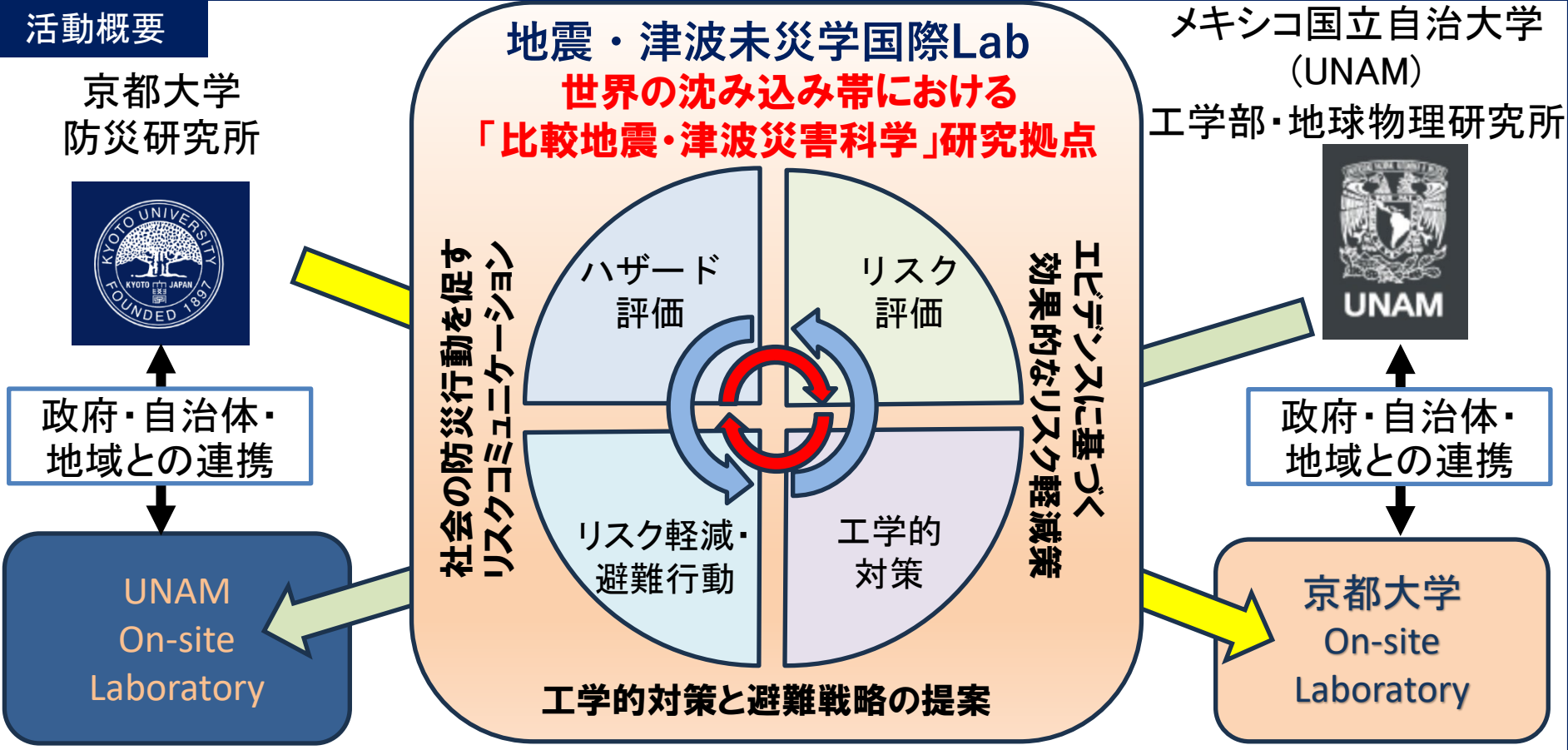
## 基本情報

- ◆ 実施部局: 防災研究所
- ◆ 相手方機関: メキシコ国立自治大学
- ◆ 設置(予定)時期: 2024(令和6)年11月
- ◆ 設置場所: メキシコ国立自治大学(メキシコ合衆国・メキシコシティ)  
京都大学防災研究所(宇治キャンパス総合研究実験2号棟)
- ◆ 設置タイプ: クロスバウンド型
- ◆ 設置目的: 沈み込み帯における地震・津波災害の軽減に向けた学際的研究拠点の設立
- ◆ 教育研究活動内容: 理学、工学、社会科学による地震・津波災害とリスクの理解の高度化

## 期待される波及効果

- ・ 新たな学問分野「比較地震・津波災害科学」の設立
- ・ 地震・津波防災研究をリードする京都大学の周知
- ・ ラテンアメリカコミュニティとのHub Laboratory
- ・ 優秀な修士・博士課程の学生の獲得

## 活動概要



## 基本情報

- ◆ 実施部局: 医学部・医学研究科、医生物学研究所、高等研究院 物質-細胞統合システム拠点
- ◆ 相手方機関: 中国医薬大学
- ◆ 設置(予定)時期: 2024(令和6)年10月
- ◆ 設置場所: 台湾 台中市
- ◆ 設置タイプ: アウトバウンド型
- ◆ 設置目的: 各種臨床試験の促進・臨床応用に向けた新規戦略の共同開発
- ◆ 教育研究活動内容: 京大発の薬剤や技術を用いた臨床試験を、オンサイトラボを介して中国医薬大学に移管し、臨床試験を施行する。オンサイトラボでは、単に技術移管することとどまらず、さらなる技術開発や、対象疾患を拡大するための非臨床試験などの共同研究も進める。

## 期待される波及効果

- ・京大発の薬剤や技術を用いた臨床試験を中国医薬大学病院で施行することができる。
- ・臨床試験の参加症例数を効率よく増やすことができ、さらにグローバルな開発の橋頭堡になる。
- ・中国医薬大学にとっても京大の MATERIAL や技術をベースにした共同開発ができるメリットがある。
- ・研究交流により学際的な発展が期待できる。

## 活動概要

- ・場所(建物とその中のラボスペース: 636m<sup>2</sup>)は準備されている(右図)。
- ・現在活動実績のある3チームと新規参加の1チームの計4チームの参加が計画されている。
- ・今後もオンサイトラボの新規参入は可能。
- ・全体を代表して管理する常駐PIを京都大学と中国医薬大学のクロスアポイントメントで雇用する。

水湊キャンパス C1/C2ビル

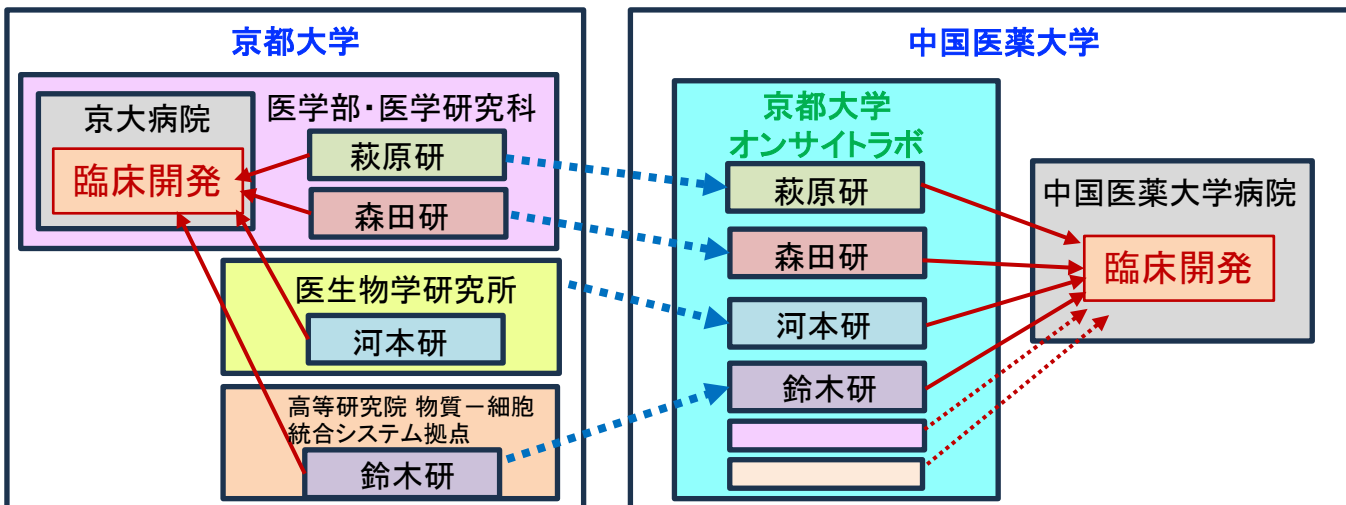


共同研究棟 産学連携棟

C1棟		C2棟	
2階 3.504M: S2P	2階 3.504M: S2P	2階 3.504M: S2P	2階 3.504M: S2P
3階 3.504M: S2P	3階 3.504M: S2P	3階 3.504M: S2P	3階 3.504M: S2P
1階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	1階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	1階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	1階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
2階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	2階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	2階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	2階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
3階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	3階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	3階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	3階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
4階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	4階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	4階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	4階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
5階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	5階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	5階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	5階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
6階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	6階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	6階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	6階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
7階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	7階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	7階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	7階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
8階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	8階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	8階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	8階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
9階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	9階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	9階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	9階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
10階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	10階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	10階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	10階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
11階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	11階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	11階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	11階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
12階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	12階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	12階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	12階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
13階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	13階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	13階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	13階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
14階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	14階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	14階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	14階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
15階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	15階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	15階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	15階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
16階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	16階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	16階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	16階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
17階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	17階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	17階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	17階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
18階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	18階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	18階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	18階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
19階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	19階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	19階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	19階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
20階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	20階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	20階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	20階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
21階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	21階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	21階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	21階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
22階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	22階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	22階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	22階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
23階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	23階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	23階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	23階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
24階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	24階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	24階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	24階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
25階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	25階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	25階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	25階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
26階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	26階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	26階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	26階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
27階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	27階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	27階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	27階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
28階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	28階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	28階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	28階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
29階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	29階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	29階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	29階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
30階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	30階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	30階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	30階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
31階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	31階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	31階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	31階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
32階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	32階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	32階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	32階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
33階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	33階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	33階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	33階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
34階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	34階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	34階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	34階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
35階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	35階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	35階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	35階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
36階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	36階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	36階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	36階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
37階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	37階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	37階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	37階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
38階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	38階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	38階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	38階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
39階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	39階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	39階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	39階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)
40階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	40階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	40階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)	40階 6.0M: 動物中心 S35(動物用3855)



京大のオンサイトラボとして予定されているスペース (636m<sup>2</sup>)



## 「インテリジェント化学生命情報学イニシアチブ (IN-CBI)」

### 基本情報

- ◆ 実施部局: 高等研究院 (iCeMS), 化学研究所
- ◆ 相手方機関: インド工科大学ルールキー校
- ◆ 設置(予定)時期: 2024(令和6)年10月
- ◆ 設置場所: 京都大学、インド工科大学ルールキー校
- ◆ 設置タイプ: クロスバウンド型
- ◆ 設置目的: 加齢関連疾患を理解し治療するためのインテリジェント医療ツールの開発
- ◆ 教育研究活動内容: 京都大学とインドのトップ研究機関との間で、優秀な学生と若手研究者の交換と教育を促進するハイブリッド(物理的・仮想的)ハブの設立

### 期待される波及効果

- ・インドのトップレベルの工学・医療ネットワークの活用による、京都大学の最先端技術の発展
- ・優秀な学生、若手研究者の交換による、国際社会に貢献する新しい世代の科学者の育成
- ・京都大学がインド人留学生にとって「最初の着地点」となる環境の構築

### 活動概要

オーダーメイド治療を視野に入れた、インテリジェント (=プログラマブル分子設計) ケミカルバイオロジーツールの開発の加速を目的とした、ハイブリッド (物理的、仮想的) クロスバウンド型オンサイトラボ

- 京都大学と IIT ネットワークのハブとして 研究交流、頭脳循環を促進

物理的 IITルールキー校 (3500 m<sup>2</sup>) と iCeMS (124 m<sup>2</sup>) によるスペースの提供・代表研究者のクロスアポイントメント・IITと京都大学による常駐研究者の配置



- ✓ 国境を越えた資金調達
- ✓ 持続可能なメカニズム
- ✓ ネットワークの拡大
- ✓ 地域振興への貢献
- ✓ アウトリーチ活動

- IITルールキー校の卓越したエンジニアリング技術と、京都大学の化学や細胞生物学分野での専門性と組み合わせることによる相乗効果で、加齢関連疾患の共同研究を加速

